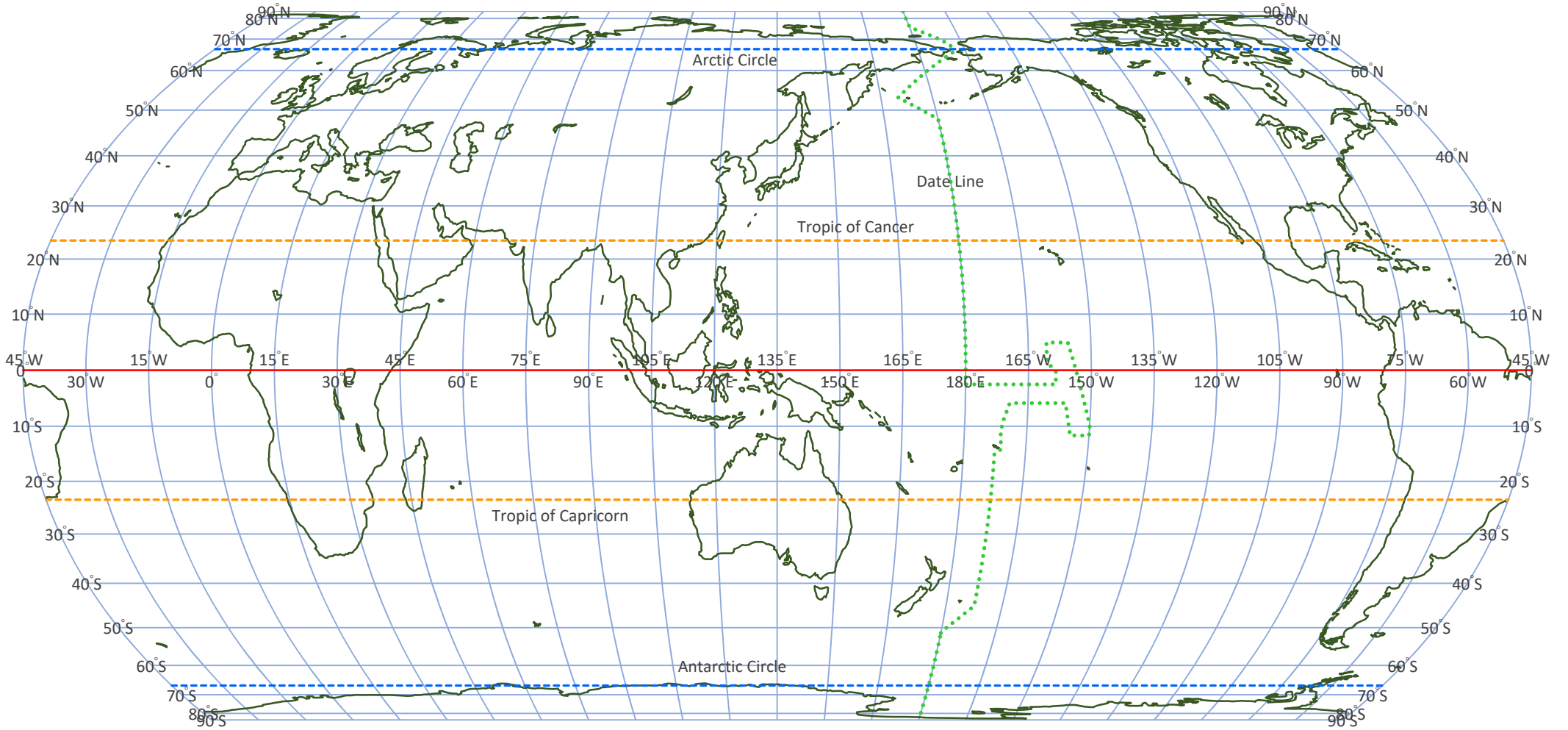


Hatano Asymmetrical Equal-Area Projection



【図 6-2-2-2-1】 羽田野 非対称 正積図法 (Hatano Asymmetrical Equal-Area Projection)

【地図主点(中心)】 東経 135°、緯度 0° 【経度間隔】 15° 【緯度間隔】 10°

【備考】 1972年に MollweideとPutnirys P2' 投影の部分修正として羽田野正隆氏により発表されたもので、正積ではあるが北半球と南半球は非対称である。パラメータ [北半球] $2\theta + \sin 2\theta = 2.67595 \sin \phi$ 、[南半球] $2\theta + \sin 2\theta = 2.43763 \sin \phi$ の θ は、EXCELのゴールシーク機能で算出してみたが、収束度合いが低かったため、緯度90° から 5° 単位で手計算で θ を特定し、5° 単位で線形補間を実施して算出適用した。